

# 石川県輪島市における 文化的景観保全と里づくりの取り組み



土井祥子(日本ナショナルトラスト)

# 日本ナショナルトラストの文化遺産保護活動

## (1)財団設立の背景

- 高度成長期の開発(1964年東京五輪・1970年万国博覧会)  
国土開発の進展による文化財やすぐれた自然の風景地などの観光資源の破壊損傷に対する危機感
- 国土再認識の機運の高揚  
1965年朝日新聞誌上での作家大佛次郎の連載「破壊される自然」  
明治百年記念年
- 文化遺産保護のための組織や法制度の整備  
1966年 古都保存法  
1967年 運輸省「観光資源保護状況実態調査」  
半数以上の観光資源が法令による保護なし  
1968年 文化庁発足  
妻籠宿の町並み保存整備開始、金沢・倉敷での条例制定  
**観光資源保護財団(現・日本ナショナルトラスト)設立**

# 日本ナショナルトラストの文化遺産保護活動

## (2)財団の目的

「観光資源」:「過去と現在をつなぎ、将来への発展の足がかりを与えるもの」で、  
「進展し続ける現代文明の中に生きるわれわれ国民にと」って「きわめて貴重な、存在意義を有する国民的財産」(設立趣意書より)

→国の施策に依存するのみでなく、国民が自らの手で観光資源を保護し、正しく利用しつつ、後世に継承することを目的とする

寄付行為(当時)

- (1) 国民的財産として後世に継承するに足る観光資源の認定
- (2) 保護対象の所有者、管理者等に対する補助金、助成金等の交付
- (3) 保護対象の取得及び管理運営
- (4) 観光資源に関する保護思想及び知識の普及向上
- (5) 観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供
- (6) 政府及び関係機関への観光資源の保護に関する建議又は陳情

# 日本ナショナルトラストの文化遺産保護活動



法輪寺三重塔



淡路人形浄瑠璃



高山市上三之町



岡倉天心旧居およびその周辺



白川郷合掌造り民家群

1969 保護を要する観光資源調査→保護対象の認定→地元自治体や保存団体への支援  
【最初期：専門委員会や事務局の推薦による対象の認定】



1973 名勝旧大乘院庭園の管理団体に指定  
保護管理事業の開始



1976 岡倉家から「旧日本美術院五浦研究所  
跡」管理受託 →1980「天心遺跡記念公園」

# 日本ナショナルトラストの文化遺産保護活動

## 観光資源保護調査

調査対象公募

調査対象選定

調査実施

報告会の開催

保護対象の認定

保護事業への展開



1979～ 公募形式による観光資源調査の実施：地域の提案に基づく調査活動  
調査実施後の文化財指定等への足がかり／保護活動の組織化への寄与

# 日本ナショナルトラストの文化遺産保護活動

## 保護活動への展開

巻機山の自然 (1977)



調査報告会での提案をもとに、東京農大研究室との連携によるボランティアを開始



80s 県の事業開始  
90s~ 一般市民のボランティア参加

1984 特定公益増進法人（免税団体）に認可  
→保護資産を買い取り・寄贈により取得



トラストトレイン (1987)

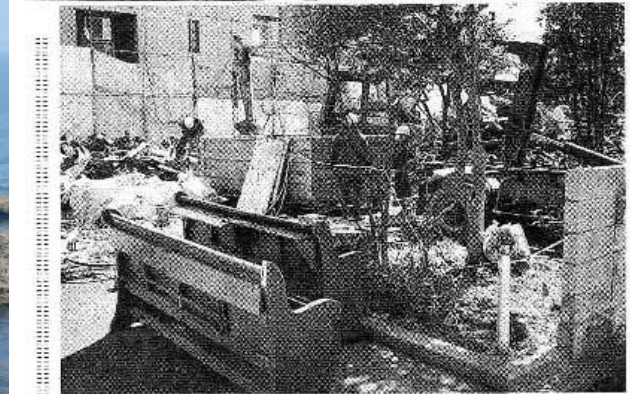


白川郷合掌民家  
旧寺口家(1987)・旧松井家(1988)



# SEEDS OF FURUSATO

—東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト—



震災の影響で取り壊された日本キリスト教団福

文化財「教会堂」取り壊し  
福島 倒壊・亀裂 安全保てず

米国の著名な建築家ウィリアム・メレル・ウオリスが手掛け、国登録有形文化財に指定されている福島の「日本キリス

スト教団福島教会」の教会堂が東日本大震災で被災し、安全が保てないとして取り壊された。10年余りの歴史を刻んだ教会堂の解体に、信者は「肩を落としたながらも」前体を向いて頑張る、と気持ち新たにしていた。1909年に完成した



# SEEDS OF FURUSATO

## —東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト—

### 背景

- ・ 広域にわたる大規模な被災（地震・津波・火災による滅失・損壊等）
- ・ 国登録文化財をはじめ、国等公共団体による経費的支援が及びにくいものが多数
- ・ 保存・復旧の意思を有する所有者等への支援が急務

### 目的

**地域の“シンボル”**である自然・文化遺産の復旧・復興を支援することにより、地域風土に根差した暮らしを取り戻すとともに、観光資源としての保護・活用への礎を築く

### 対象

東日本大震災により被災した自然・文化遺産の修理・復旧への支援  
※文化財指定・登録の有無を問わないが、原則として国の補助対象となる復旧事業は除く。

- i) 建造物等
- ii) 記念物・文化的景観
- iii) 民俗文化財及び無形文化財

- ・ 地域のシンボルとして地域住民に認識され、周知されているもの
- ・ 地域において保存・活用の機運のあるもの、または今後予想されるもの
- ・ 歴史的、文化的、景観的な要件のいずれかの価値を認められるもの

### 内容

- 募金キャンペーンの展開
  - 支援事業
  - パートナー事業
- 所有者等が行う修理・復旧事業に要する経費の一部を助成  
対象遺産の復旧・復興を支援する活動団体と連携





- 平成24年度支援事業 14件
- 第二次支援事業 15件
- 第三次支援事業 12件
- パートナー事業 2件





復興支援の集いin京都



駅募金イベント（東京駅）



森秀織物（群馬県桐生市）  
修復竣工記念特別見学会



尾形家住宅  
修復現場での実演講習会



机浜番屋群 井戸復元ボランティア



机浜番屋群  
寄付金贈呈式

# 文化的景観の保護

- 平成16年文化財保護法改正(17年4月施行)により6つめのカテゴリーとして保護の対象となる

定義:「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」

(文化財保護法第二条第1項第五号)

- 都道府県または市町村の申し出に基づき、景観法に定める景観計画区域または景観地区にある文化的景観のうち、とくに重要なものを国が「重要文化的景観」として選定

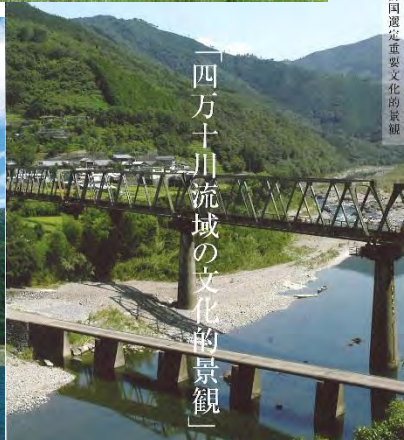
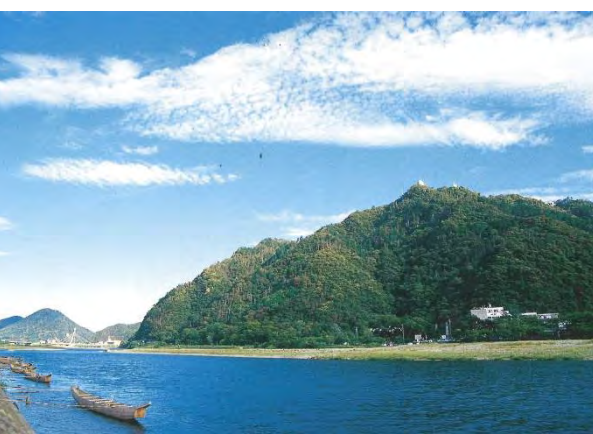
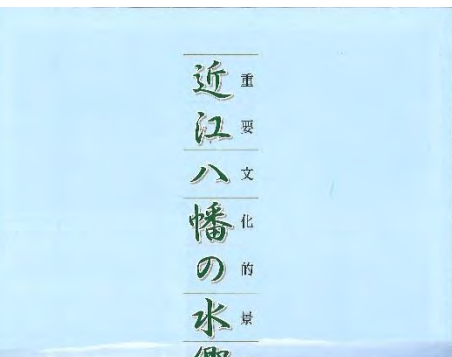
# 重要文化的景観選定基準

- 一 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された次に掲げる景観地のうち我が国民の基盤的な生活又は生業の特色を示すもので典型的なもの又は独特のもの
  - (一) 水田・畑地などの**農耕**に関する景観地
  - (二) 茅野・牧野などの**採草・放牧**に関する景観地
  - (三) 用材林・防災林などの**森林の利用**に関する景観地
  - (四) 養殖いかだ・海苔ひびなどの**漁ろう**に関する景観地
  - (五) ため池・水路・港などの**水の利用**に関する景観地
  - (六) 鉱山・採石場・工場群などの**採掘・製造**に関する景観地
  - (七) 道・広場などの**流通・往来**に関する景観地
  - (八) 垣根・屋敷林などの**居住**に関する景観地
  
- 二 前項各号に掲げるものが複合した景観地のうち我が国民の基盤的な生活又は生業の特色を示すもので典型的なもの又は独特のもの

# 重要文化的景観選定地

平成25年11月1日現在 38件が選定

近江八幡の水郷



「四万十川流域の文化的景観」

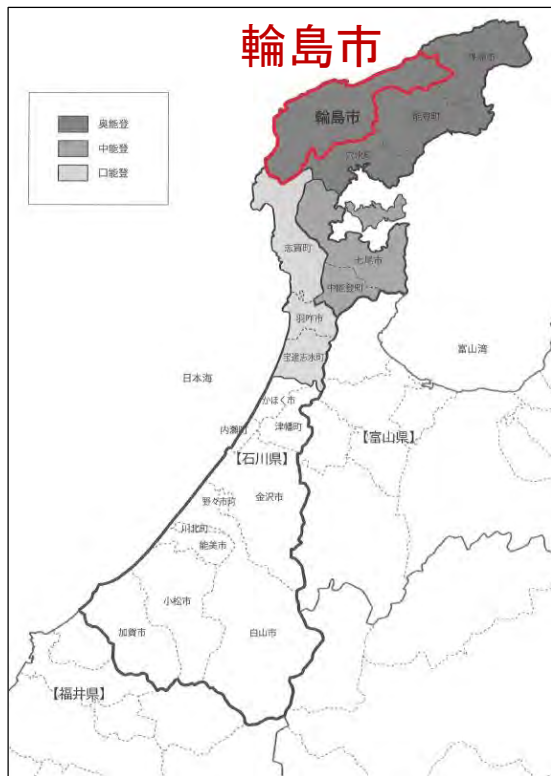
## 重要文化的景観選定及び選定答申を受けた地域

1. アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観
2. 遠野 荒川高原牧場 土淵集落 (2012.11.16追加答申)
3. 最上川の流通・往来及び左沢町場の景観 (2012.11.16答申)
4. 一関本寺の農村景観
5. 利根川・渡良瀬川合流域の水場景観
6. 佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観
7. 金沢の文化的景観 城下町の伝統と文化
8. 姨捨の棚田
9. 近江八幡の水郷
10. 高島市海津・西浜・知内の水辺景観
11. 高島市針江・霜降の水辺景観
12. 宇治の文化的景観
13. 奥飛鳥の文化的景観
14. 榎原の棚田
15. 遊子水荷浦の段畑
16. 四万十川流域の文化的景観 源流域の山村
17. 四万十川流域の文化的景観 上流域の山村と棚田
18. 四万十川流域の文化的景観 上流域の農山村と流通・往来
19. 久礼の港と漁師町の景観
20. 四万十川流域の文化的景観 中流域の農山村と流通・往来
21. 四万十川流域の文化的景観 下流域の生業と流通・往来
22. 求菩提の農村景観
23. 藤野の棚田
24. 佐世保市黒島の文化的景観
25. 平戸島の文化的景観
26. 五島市久賀島の文化的景観
27. 小値賀諸島の文化的景観
28. 長崎市外海の石積集落景観
29. 新上五島町北魚目の文化的景観
30. 新上五島町崎裏の五島石集落景観
31. 通潤用水と白糸台地の棚田景観
32. 天草市崎津・今富の文化的景観
33. 小鹿田焼の里
34. 田楽荘小崎の農村景観
35. 別府の湯けむり・温泉地景観

全国初5市町選抜国選定重要文化的景観



# 輪島市 大沢町・上大沢町の位置



H18.2月 旧輪島市と門前町  
が合併し新「輪島市」  
人口 29,741人  
世帯 12,789件  
(H26.3月現在)



大沢町・上大沢町 : 輪島市「西保地域」  
輪島市中心市街地から西に約12km(車で約30分)

# 輪島市の文化遺産



白米の千枚田



三井の里山景観



黒島の町並み



上時国家住宅



総持寺祖院



朝市

# GIAHS(世界農業遺産) 能登の里山里海

平成23年6月 国内初の認定

(七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町)



## 日本海に突き出た能登半島

自然と調和した農林水産業と人の営みが育む「能登の里山里海」  
未来へ引き継ぐ、世界に認められた大切な宝物です。

## 伝統的な農林漁法と土地利用

稲のはぎ干し(天日干し)や海女漁などの伝統的な農林漁法が今も継承されています。農業用の水源として2千を超える「ため池」が点在し、傾斜地には棚田が多く見られます。

## 多様な生物資源

能登各地の里山里海には希少種を含むたくさんの生きものが生息・生育し、渡り鳥も多く見られます。また、「能登野菜」などの在来品種の栽培の振興も積極的にはかられています。

## 優れた里山景観

日本海に面した急傾斜地に広がる「白米の千枚田」をはじめとした棚田や谷地田、茅葺きや黒瓦・白壁の家並みなどは、日本の農山漁村の原風景とも表現される景観です。



## 伝えたい伝統的な技術

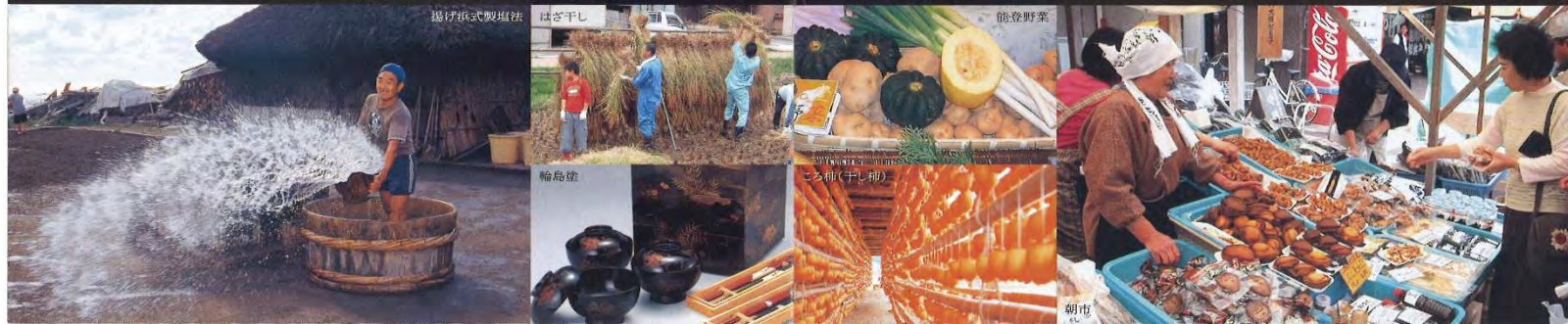
唯一能登にだけ残る「揚げ浜式」と呼ばれる製塩法や、日本を代表する伝統工芸「輪島塗」、里山の管理・保全と密接に結び付いた「炭焼き」などの伝統的な技術が継承されています。

## 文化・祭礼

夏から秋にかけて豊漁や豊作を祈願して行われる「キリコ祭り」をはじめ、ユネスコの無形文化遺産にも登録された農耕儀礼「あえのこと」など、農林水産業と密接に結び付いた文化・祭礼が能登各地に継承されています。

## 里山里海の利用保全活動

「能登の里山里海」を未来へ引き継ぐため、棚田のオーナー制度やキリコの担ぎ手ボランティア、ビオトープの造成などの活動が多様な主体の参画により進められています。





# 大沢町の概要

人口:202人(89世帯)

人口減少・空き家の増加が進む

近世に加賀藩十村を務めた筒井氏が居を構えた

村役場・中学校・小学校が設置

後背地は比較的なだらか



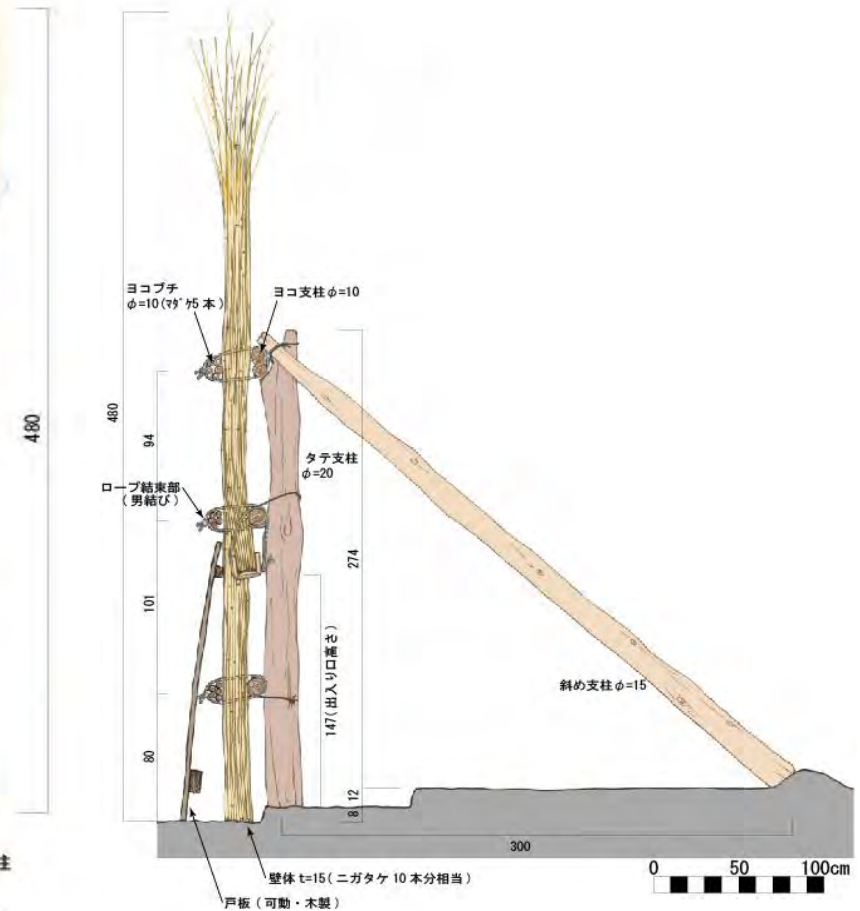
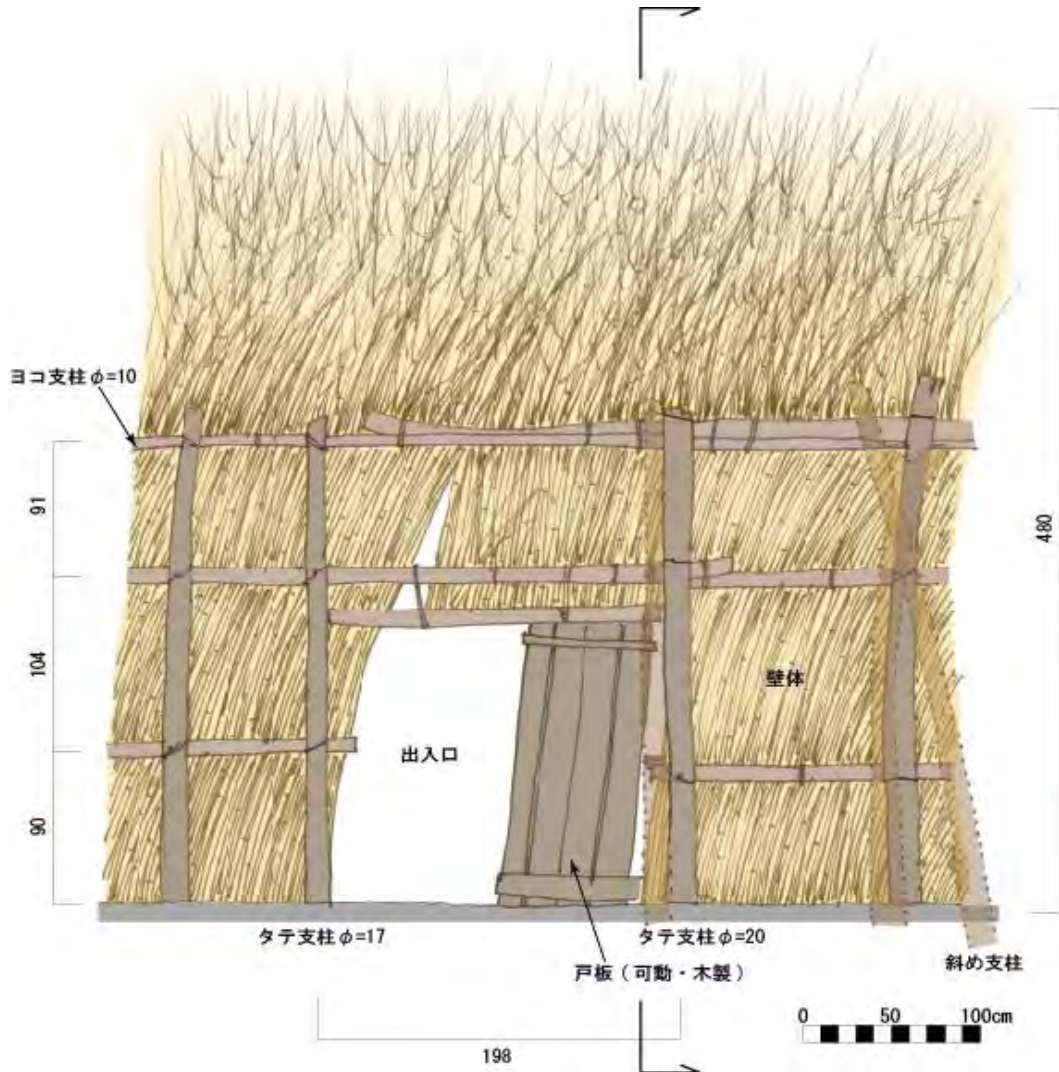
# 上大沢町の概要

人口:68人(22世帯)  
集落内の結束が固い  
空き家はなし  
谷合にありとくに風が強い



# 伝統的な間垣

主材料: 壁体 ニガタケ(メダケ)  
支柱 クリ・アテ(能登ヒバ)  
結束材 かつてはフジヅル、現在は番線



# 3タイプに分類された間垣



伝統継承タイプ



混合タイプ



簡易タイプ

# 間垣連続写真(大沢町)



B



C

D

E

F

G



H

I



J

K

L

M



N

O



P



Q

R

S



T

J

※間垣記号は景観構成要素分布図参照

大沢地区 間垣連続写真

# 間垣連続写真(上大沢町)

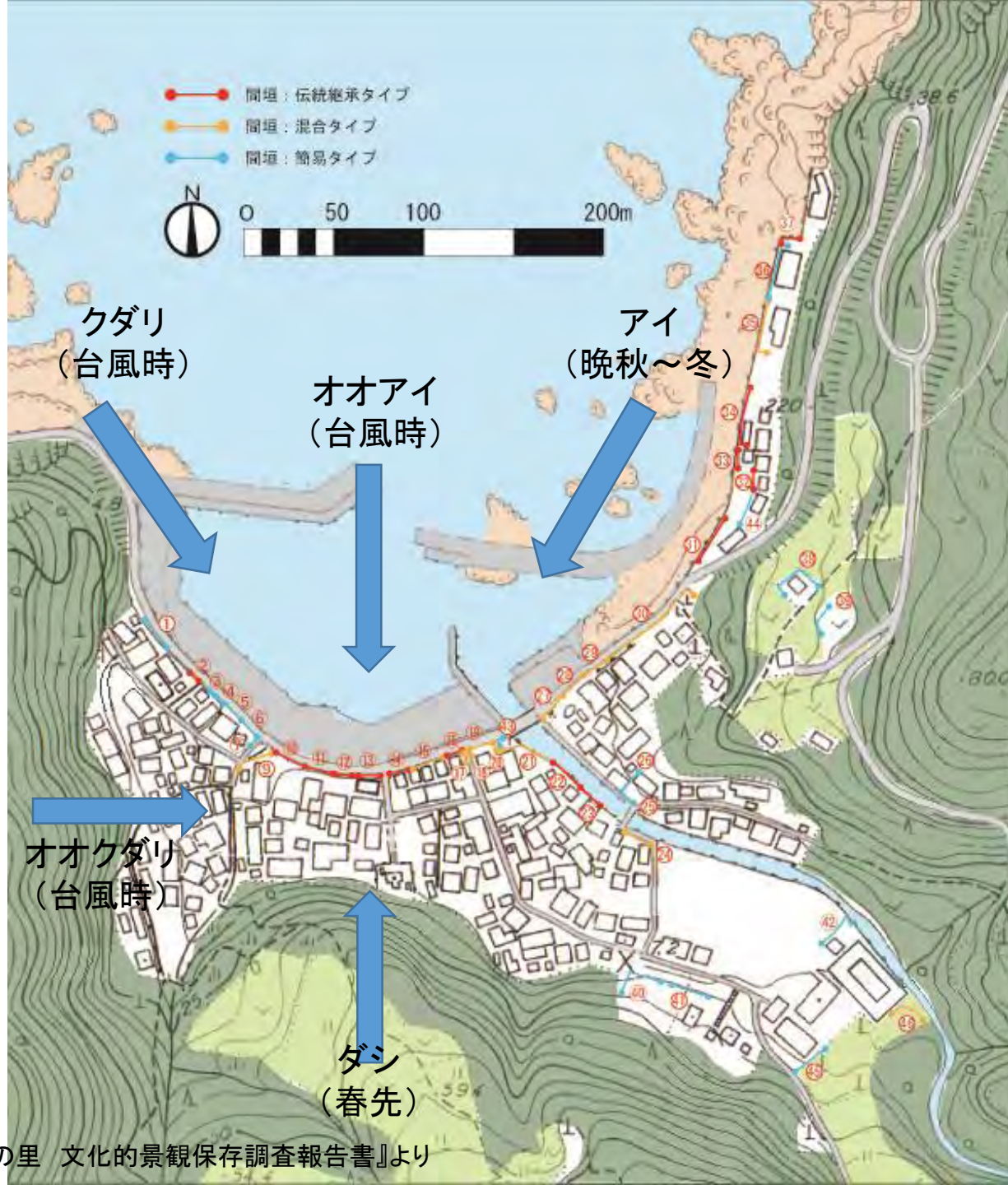


※間垣記号は景観構成要素分布図参照 上大沢地区 間垣連続写真

# 大沢集落の間垣分布状況 (平成21年調査時)

45基  
総延長809.6m

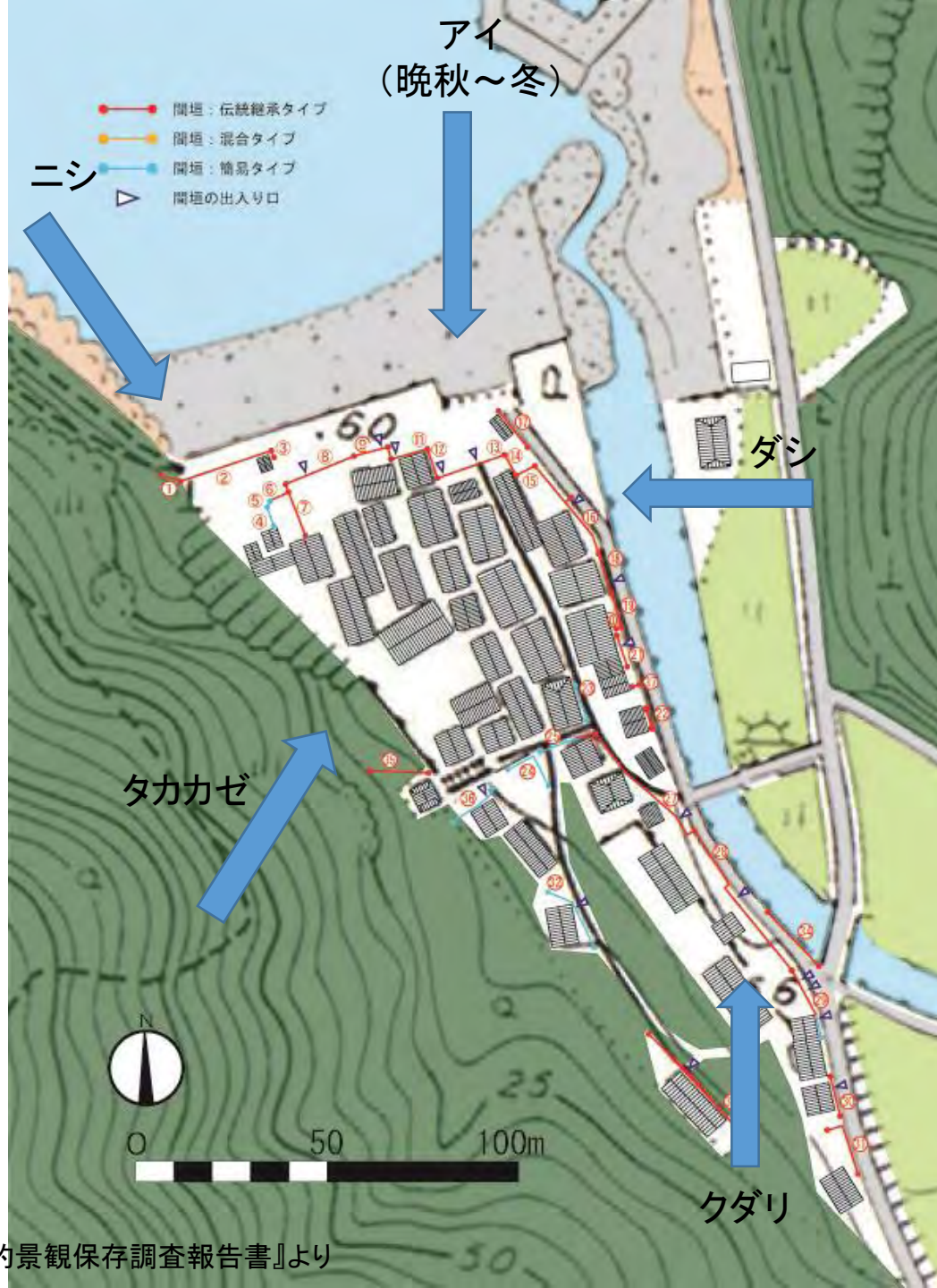
伝統継承タイプ	37%
混合タイプ	30%
簡易タイプ	33%



# 上大沢集落の間垣分布状況 (平成21年調査時)

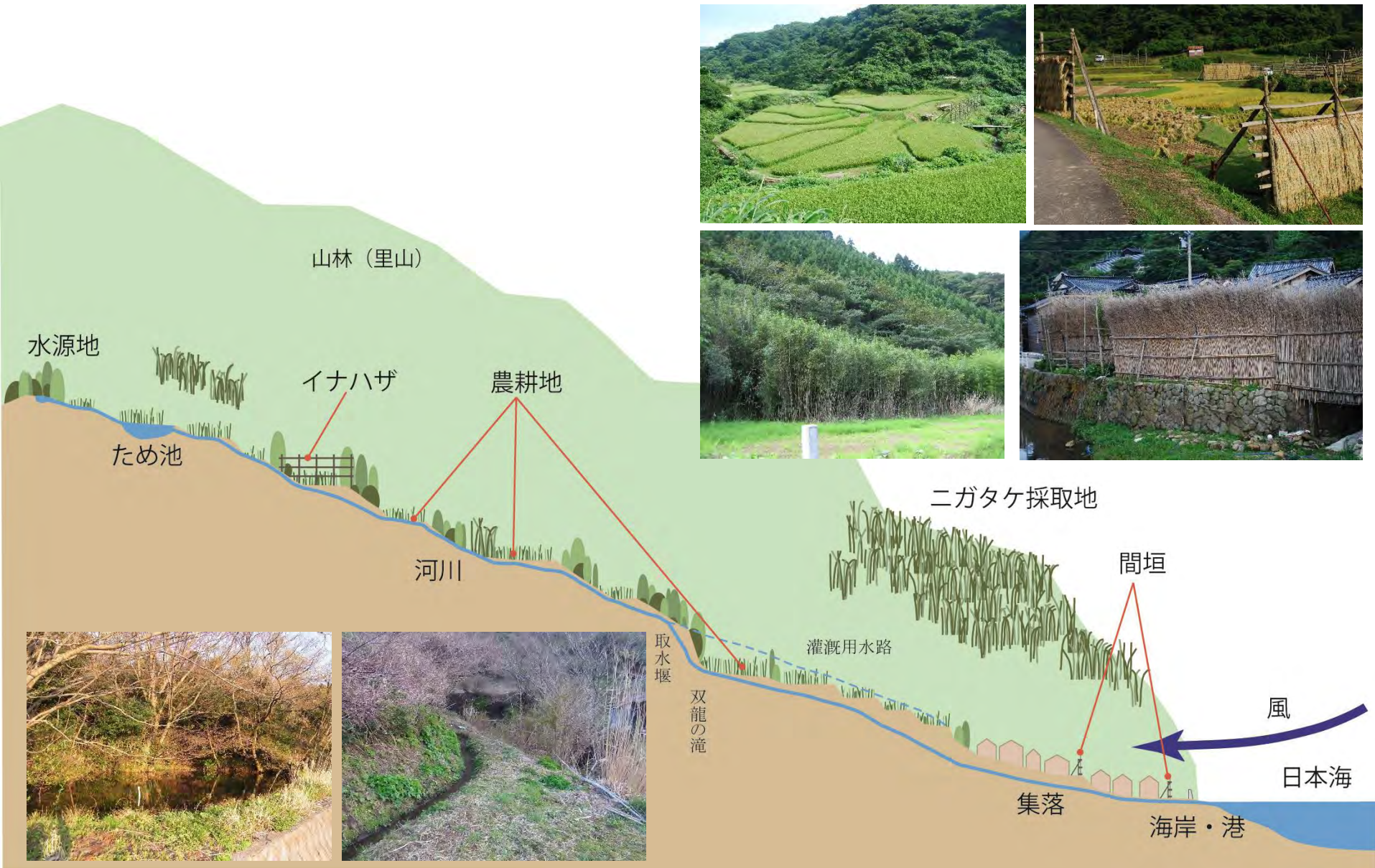
37基  
総延長517.4m

伝統継承タイプ 80%  
簡易タイプ 20%

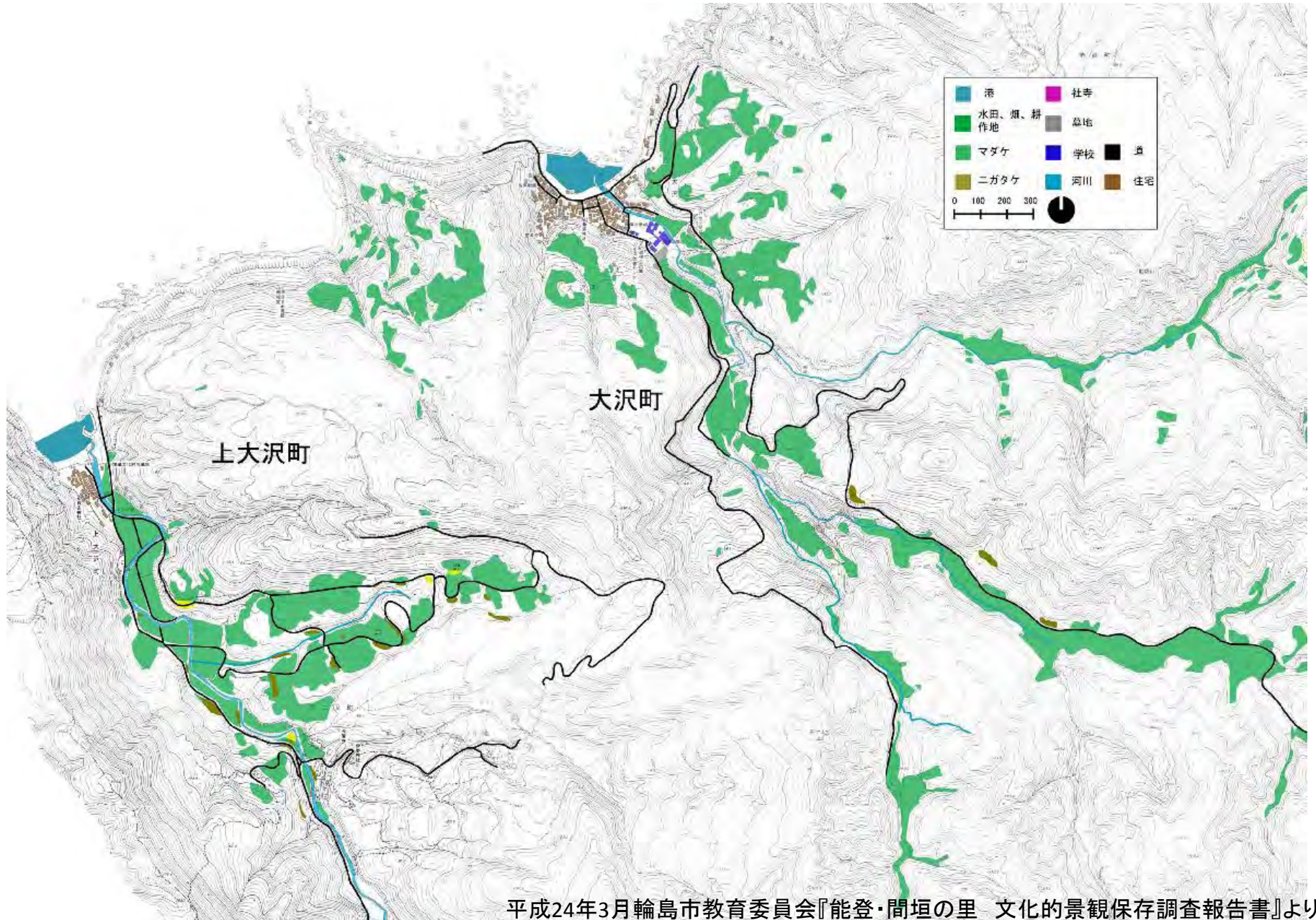




# 間垣の里の景観構造



# 間垣の里の土地利用



# 間垣の里の生業



# 間垣の維持管理をとりまく課題

## ①材料供給面の課題

高齢化・営農環境の変化（農作業の一環としての作業）

河川整備による主要供給地の消失

→安定的供給源の確保が急務

## ②作業労力面の課題

家単位で行っていた作業の継続困難

業者委託など作業の外部化が進み技術や知恵が継承されない

## ③所有者にかかる負担の増大

単身高齢者の負担の困難（行政からのわずかな補助）

ニガタケの採取や擁壁上など危険な場所での作業

## ④空き家の増加（大沢町）

# 材料不足・作業負担の増大が深刻化しつつある 間垣の維持補修作業



# 変化しつつある間垣



# 大学研究室との連携の開始（H23年度～）



# 大学研究室との連携の開始(H23年度～)

地域貢献大学生プロジェクト

「輪島の間垣づくり」体験

ワンコインツアー参加者募集!

地域連携推進センターでは地域と大学をつなぐ活動に取り組んでいます。  
その一つに、能登・輪島の文化的景観を形作る間垣の保全活動があります。  
日本海から吹き付ける冬の強風から家屋を守るためニガタケなどを組んで設けられた間垣ですが、過疎高齢化により維持管理が難しくなり、存続が危ぶまれています。こうした状況を背景に、学生による間垣補修支援活動の試みが始まりました。

【日時】

平成25年11月23日(土) 8:00～22:00

金大より送迎バス

【内容】

- ・輪島市大沢地区での間垣補修活動
- ・ニガタケ林の再生活動
- ・大沢地区の方々との交流会

【参加費】

500円(食事、入浴代等含む)

【定員】

15名(定員になり次第締切)

【備考】

詳しい集合場所、持ち物は別途お知らせします。

【運営】

地域創造学類 地域プランニングコース 松下ゼミ

【お申込・問合せ】

金沢大学地域連携推進センター (担当: 國司田)

電話 076-264-5272

Email: [event@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:event@adm.kanazawa-u.ac.jp)





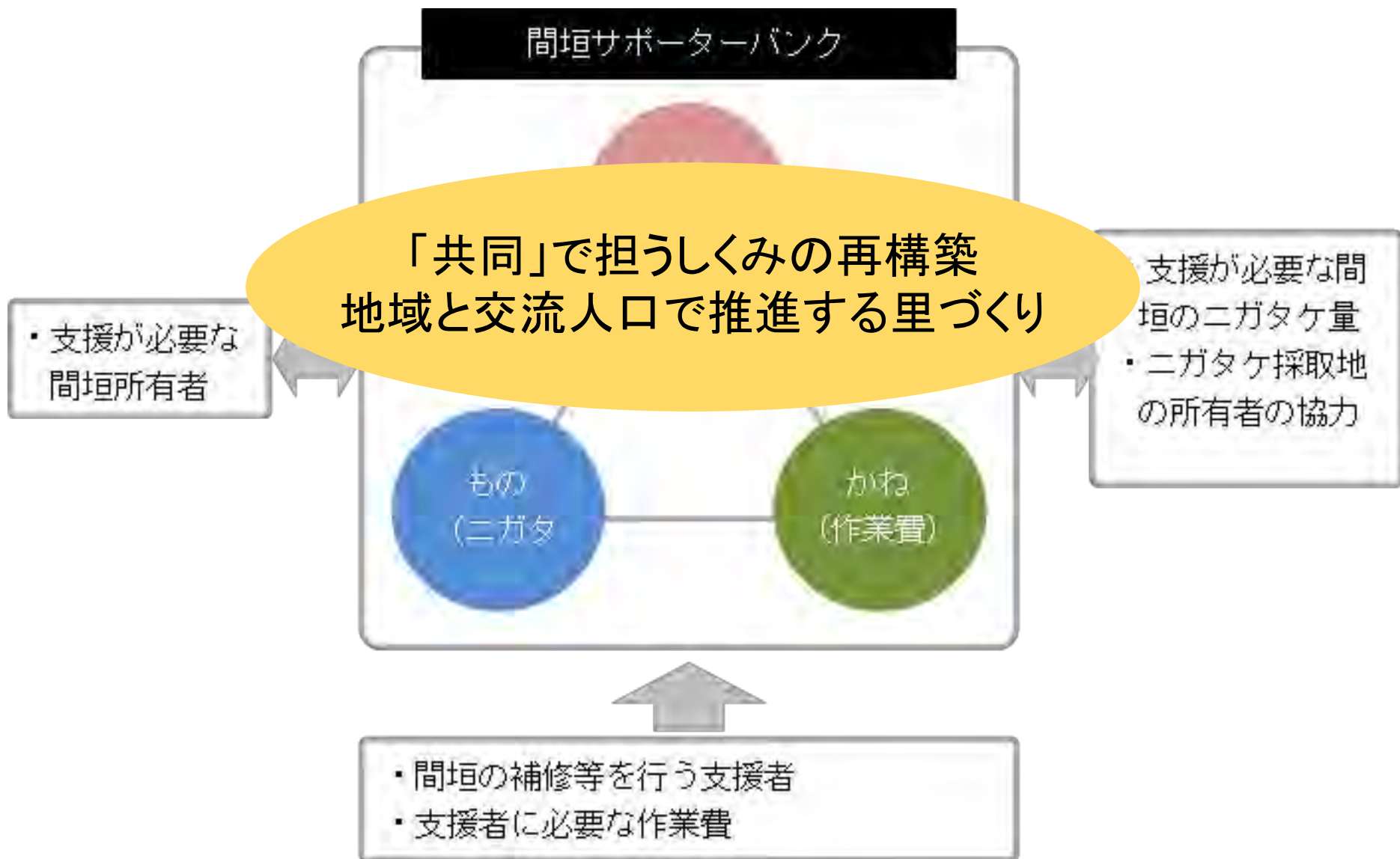
# 「間垣七役」(藤平朝雄氏)

- 風除け
- 湿気調整
- 塩っ気の除去
- 海鳴りのトーンダウン
- 夏の強い西日の遮断
- 観光資源
- 地域全体で防災意識の連帯感を高める「絆」効果



# 間垣の里づくり計画

— 文化的景観の保全から地域ぐるみの里づくりへ —



# 作業体験会の実施

—地域住民と外部支援者が担う仕組みづくりへ—

## ①ニガタケ伐採作業



# 作業体験会の実施

ー地域住民と外部支援者が担う仕組みづくりへー

## ②間垣補修作業



# 持続可能な仕組みづくりへ向けて

- **材料の安定確保が急務**  
⇒ 共有のニガタケ畑づくり(耕作放棄地の活用)  
地域ぐるみでとりくむ維持管理作業
- **作業の技術的サポート・安全確保の必要性**  
⇒ 技術者・学識経験者によるサポート  
景観に配慮した工法の研究
- **住民の参加意欲の向上・新たな担い手の掘り起し**  
⇒ 大学との連携・サポーター呼びかけ
- **産業との連携による活動費(作業費)のねん出**  
⇒ 補助金だけに頼らない自律的活動へ



**住み続けられる里づくりへ**